

「3.11から未来の災害復興制度を提案する会」は、東日本大震災からの復興を目指し活動するNPO・研究者等により、近年多発する自然災害や今後起こりうる災害の備えとして、誰一人として取り残されず効率の良い支援が行き届くように、災害救助法や社会保障関係法等の関係法の改正を目指している団体です。これまで、各種勉強会の開催、国会議員や行政等との意見交換を行ってまいりました。

in岡山 現在の被災者支援制度

この度活動をより多くの方にご理解いただき、ご賛同をいただく機会として、全国の支援現場で活動する実践者を交えシンポジウム行っております。その第4弾を、平成30年7月豪雨、一般に西日本豪雨とも呼ばれる災害で被災を受けた岡山にて、その被災地支援で立ちあがった地元のネットワークである「災害支援ネットワークおかやま」との共催にて開催いたします。

これまでの大規模災害から考える

「災害支援ネットワークおかやま」では、岡山県・岡山県社会福祉協議会と共に情報共有会議を開催する他、特に大きな被害のあった岡山市・倉敷市とも協働しながら支援活動を展開し、岡山市とは被災高齢者等の把握事業を活用した避難者の把握と支援等も実施しました。同ネットワークへの参加組織及び中四国で支援活動を展開した方々とともに、中四国・東北からこれからの被災者支援制度について考えていきます。

日時

令和4年 **9月26日(月)**

14:00~16:00 来場+オンライン
【ハイブリッド開催】

会場:ハッシュタグ岡山

(岡山市北区北長瀬表町2-17-80 ブランチ岡山北長瀬内)

※オンラインへお申し込みいただいた方へは、ZoomのURLをお送りいたします。

申込期限 | 令和4年 **9月21日(水)**

参加費 | **無料**

定員 | **来場50名 オンライン100名**

※定員になり次第締め切らせていただきます。
※来場の際には、感染症対策にご協力ください。

申込方法 | 右記QRコードもしくは

裏面の申込用紙にご記入下さい

<https://forms.gle/6nBvkHoE9MwNMnLh8>



内容

・311変える会からの提案と活動報告

大阪公立大学大学院文学研究科 准教授 菅野 拓

・中国・四国地域の支援者からみた現在の被災者支援制度と今後に向けて

【登壇者】 弁護士法人ゆずりは新見法律事務所 弁護士 大山 知康 氏

NPO法人 U.grandma Japan(ユーグランマジャパン)代表理事 松島 陽子 氏

311変える会代表 阿部 知幸

大阪公立大学大学院 菅野 拓

【コーディネーター】

NPO法人岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也



主催

3.11から未来の災害復興制度を提案する会 共催:NPO法人岡山NPOセンター、災害支援ネットワークおかやま

お問合せ
お申込み

【事務局】NPO法人いわて連携復興センター(担当:大吹、太田)

〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 クレオンタワー7F

Tel.0197-72-6200 Fax.0197-72-6201 E-mail: 311kaerukai@ifr.sakura.ne.jp



この活動は「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の支援を受けています

これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度in岡山

参加申込書	下記をご記入いただき、0197-72-6201にFAXいただくか 必要事項をご明記の上、311kaerukai@ifr.sakura.ne.jpまでご連絡ください。 ※ E-mailでお申し込みの場合、タイトルを「9/26参加申込」としていただき、お名前、団体名、連絡先、メールアドレスをご記入ください。		
申込者名			
団体名	参加方法	来場・オンライン (いずれかに「○」をお願いします)	
当日の連絡先 (電話番号等)	Email		

登壇者・コーディネーター プロフィール

大山 知康 氏 (ゆずりは新見法律事務所 弁護士)



平成18年弁護士登録。平成24年新見市で弁護士法人ゆずりは開設。平成27年度岡山弁護士会副会長。
 現在、岡山県被災者支援士業連絡協議会事務局長、中国地方弁護士会連合会災害復興支援委員会副委員長、公益財団法人みんなでつくる財団おかやま監事(前代表理事)、適格消費者団体NPO法人消費者ネットおかやま副理事長などを務める。

松島 陽子 氏 (NPO法人U.grandma Japan 代表理事)



株式会社ひめ美じん(化粧品会社)代表取締役、株式会社コバヤ(飲食業・食品加工)取締役、NPO法人U.grandmaJapan代表理事。
 平成30年7月豪雨をきっかけにボランティアをはじめコミュニティの大切さを感じ子ども食堂を月に2回開催中。誰も取りこぼさない社会になるように少しでも働きかけが出来ればと思ひ活動をしている。

阿部 知幸 (311 変える会 代表)



東日本大震災をきっかけに民間企業よりNPOの世界へ転身。被災者支援を継続していくなかで、生活に困っている方々への支援のひとつとして食料支援を開始すると同時に岩手県で食のセーフティーネットを構築するために、2014年フードバンク岩手を設立。食品ロス削減推進法の充実・被災者支援の制度改正にも取組み中。

菅野 拓 (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授)



臨床の社会学者。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。東日本大震災発災直後からパーソナルサポートセンターにて仙台市と協働し、被災者生活再建支援事業・生活困窮者自立支援事業を立ち上げ、現在は理事。最近の主な委員として復興庁「多様な担い手による復興支援ビジョン検討委員会」ワーキンググループメンバー、熊本市「復興検討委員会」委員など。

石原 達也 (NPO 法人岡山 NPO センター 代表理事)



2001年大学生のみでNPO法人を設立し。2003年鳥取市社会福祉協議会に入職。その後、転職して出身地・岡山のNPO法人岡山NPOセンターに入職(現在、代表理事)。その他、みんなの集落研究所(代表執行役)、PS瀬戸内株式会社(代表取締役)、北長瀬エリアマネジメント(代表理事)等。平成30年7月豪雨災害では災害支援ネットワークおかやまを設立し、以降、世話人を務める。

3.11 から未来の災害復興制度を提案する会では、活動に賛同していただける方の電子署名と、ご寄付を承っております。皆様からのご賛同をお待ちしております。3.11から未来の災害復興制度を提案する会ホームページでは、最新の活動状況がご覧になれます。



311変える会ホームページ



電子署名フォーム



寄付受付フォーム